家庭の医学＋

カゼを吹きとばす健康作戦

たかがカゼぐらいと、ばかにしてはいけません。
今年は、家族みんながそろって元気で冬を越せるよう、カゼについてもっと知り、カゼに強くなりましょう。

カゼは万病のもとといわれるワケ

カゼほど、誰もがよくかかりながらもうひとつ正体のはっきりしないものも珍しいでしょう。というのも、カゼというのは病名ではなく、クシャミ、ハナミズ、ハナヅマリ、ノドの痛み、頭痛、せき、たん、発熱といったさまざまな症状群に対してつけられた、いわば総称のようなものなのです。

冬にカゼをひきやすいのは、ウイルスに感染しやすいからです。カゼのウイルスは低温ほど生存に都合がよく、湿度も四十パーセント以下と低いほど活発に活動します。つまり冬はウイルスにとってまことにいい条件が整っているわけで、人間にすればカゼをひきやすいということになります。

ウイルスの侵入によって抵抗力が弱くなったからだは、その他の菌にもおかされやすくなります。これを二次感染といい、肺炎菌、連鎖球菌、ブドウ球菌などによって、扁桃腺炎、中耳炎、肺炎、腎盂炎などの病気にみまわれます。よく「カゼは万病のもと」といわれるのは、このことをさしているものです。カゼそのものよりも、実はこの二次感染のほうがこわく、命にかかわることすらあるのです。そうならないためにも、まずカゼに負けないことが大切になってきます。

◎手軽にできるカゼの予防法
・人が多く集まる場所をさける。
・うがいをする。
・普段から皮膚をきたえておく。

◎ひいてしまったら
・安静、栄養、保温の三原則を守りましょう。

たばこ消費税は
暮らしの中に
生かされています。

地名アラカルト ⑤

きつねとたぬき

今回は、このことについて調べてみましょう。

※きつねに関係した地名

狐塚（キツネヅカ）　小田部
狐山（キツネヤマ）　〃
稲荷（イナリ）　篠本・目篠
稲荷前（イナリマエ）　宮川
稲荷後（イナリウシロ）　上原
稲荷台（イナリダイ）　原方
稲荷穴（イナリアナ）　両国新田
今稲荷（イマイナリ）　谷中
稲荷坂（トウカザカ）　芝崎
稲荷台（トウカダイ）　虫生
稲荷塚（トウカヅカ）　小田部

※たぬきに関係した地名

ムチナタ　上原

意外にもたぬきに関係した地名が少ない。

県内では、たぬきとムジナをはっきり区別している土地は少ないようです。

きつねは、単に動物として扱うよりも田の神（農業の守護神）の使者と考えて稲荷信仰に結びついたことからきつね＝稲荷となっています。狐塚も稲荷塚も同じ意味となります。

町内には、稲荷神社が篠本三区、新井、谷中にあって蒼稲魂命（うかのみたまのみこと）を祭神としています。口伝によるものですが勧請年代の古いものは谷中の嘉慶二年（一三八八）です。ここには、天正五年（一五七七）に本社を再興した時の棟札が残されています。

◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆◆

町内の地名について順次取り上げております。地名のいわれ等についてご存じの方がありましたらお知らせください。

㈲　二〇二一～〇三

〃上手な電話の使い方〃

◆ダイヤルは
途中休まず
最後まで！

ダイヤルは途中で五秒以上間をあけると、話中音が出てつながりません。
ダイヤルはつづけて回しましょう。

電報電話局